

I

教育開発センター委員会について

1. 教育開発センター委員会の事業計画と運営体制

(1) 教育開発センター委員会事業方針

2020年度教育開発センター委員会では、教育開発センター規程を見直した。IR委員会、FD・SD推進委員会については、機能そのものを教育開発センターへ組織改編したため、FD・SD活動は、教育開発センター委員会の取り扱い事項となった。

2020年度の教育開発センターの事業計画について以下に提示する。

1) 教学マネジメント体制の支援および教学IRについて

教育開発センターは、教学マネジメント体制の基盤的な役割を果たすことが期待され、その要請に応えるべく、教学IR（情報収集・分析）を更に深めていく。具体的には、大学全体のアセスメントとして（授業評価アンケート・マイステップ（学修目標の設定と振り返り）・新入生アンケート・卒業生アンケート・学生満足度調査・学生学習時間調査・成長実感調査）を実施する。また、各学部内では科目に応じてアセスメントテスト（英語・非言語・言語・日本語検定等）を実施しているため、これらの情報収集、成績評価やGPAの情報等と紐づけを行い、学びの実態について情報を収集し、分析する。大学内の各種活動に関する評価機関として機能を強化する。

2) FD・SD活動の推進

教職員の教育力向上の支援及び推進に向けて以下のFD（大学全体レベル・学位プログラムレベル・授業科目レベル）に落とし込み順次開催していく。

- ①各種アセスメント結果・現状の学生の分析結果を用いて意見交換、次期カリキュラム改革に向けての知見を深める機会の提供。
- ②成績評価基準の適切な運用（ルーブリックの活用、GPA算出と活用等）、評価基準を通しての、個々の授業科目の見直しにつながる機会提供。
- ③学修成果の可視化（学生個人の学修成果の評価方法）、2020年度に学修ポートフォリオが導入されるため、学生指導/支援を行うにあたっての教職員の知識・技能の力量形成をはかるための機会提供。

3)教育課程の整備

教育課程の中で特にカリキュラム整備の一環としてカリキュラムマップ（カリキュラムツリー）を整備する。また、2019年度カリキュラム改革でスタートした大学共通コア科目の評価を進め、DPの検証を行うとともに課題の整理に努めたい。

本資料は、教育開発センター委員会の事業計画の柱であるFD活動の実質化に向けた実施内容の報告書である。

FD・SD活動の推進として、これまで同センターでは①FD研修会、②授業公開、③授業評価アンケートを実施してきた。2020年度については、コロナ禍ということもあり、②授業公開を実施することはできなかったが、上記②に記載のある通り、教員の教育力向上を目指し全学および学部FD・SD研修を開催してきたため、これについて報告する。

①全学 FD 研修会について、昨年度に引き続き講演型のみならず、カリキュラム改革と連動したワークショップ参加型など実効性のある研修会を実施する。学部の FD 研修会にも力点を置き、質の高い研修会を実施する。両キャンパスでの実施を目指し、Web 上での研修会録画の閲覧を継続、キャンパス間の中継による参加も実施の検討を進め、参加率を上げるよう努める。全学 FD 研修会における学内の講演者は、講演内容に関連した改善提案と、関連部署が改善のために取るべきアクションについて、コメントすることを努力義務とする。

②学部 FD 活動の内容については、学部の FD 委員を中心として、前年度に掲げた今後の課題を具体化し、今年度の学部における FD 活動の目的と達成目標を明確にし、年間計画を早期に策定して実施に移す。また、目標設定や実施の進捗状況ならびに実施の結果等は、その都度教育開発センター委員会に報告する。

③授業公開について。授業評価アンケートの結果をポイント化したうえで、各学部にて授業評価の高かった教員を評価選出し、その教員の担当科目から授業公開を行い、教員にフィードバックし優れた取り組みを共有する仕組みを 2019 年度から開始した。☞ 2020 年度未実施

④授業評価アンケートについて。2018 年度より Web アンケートを実施、項目を統一し簡素化、実施期間を学期終盤に移行することとした。さらに 2019 年度にはグレードアップした先端なび上での実施と移行し着実に実行した。実施期間外の授業科目についてもアンケートを引き続き実施する。担当教員や学生へのフィードバックの状況を改善し、授業改善に繋げる。さらに、IR との連携を引き続き強化し、アンケートの改訂やデータを分析して、その結果から授業改善へのフィードバックの仕組みを引き続き検討する。

次に、教育の質保証に関わる全学的な課題として、上記記載 2) の点について今年度の教育開発センターは検討を行うこととする（全学 FD 研修会のテーマ候補）。

(2) 教育開発センター委員会の運営について

1) 教育開発センターの目的

(目的)

第2条 センターは、本学の教育目的を実現するための諸活動に必要な大学教育に関する情報の収集、調査、分析及び提供(インスティテューショナル・リサーチ)(以下「IR」という。)活動を含む教学に関する企画の立案と実施を図り、教育活動及び教育機能の向上と発展に寄与することを目的とする組織である。

2) 教育開発センターの業務

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 大学教育に関する情報の収集、調査、分析及び情報の提供(IR)活動
- (2) 全学に共通する教育プログラムの企画及び開発
- (3) 教育効果の評価方法の開発及び実施
- (4) 教職員の教育力向上の支援及び推進
- (5) FD・SD活動
- (6) 教育課程の質保証の開発及び向上
- (7) 授業及び成績評価に関わる分析及び開発
- (8) 教育環境の整備に関わる企画及び開発
- (9) センター教員の採用、昇任および継続審査

(10) その他、前各号の目的達成のために必要な業務

※注)

FD（ファカルティ・ディベロプメント）とは、大学設置基準第 25 条の 3、大学院設置基準第 14 条の 3 に規定の内容を踏まえ、授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みをいう。具体的には、次のとおり。

- ①教育の質的向上に関する情報の収集
- ②教育の質にかかる現状評価と諸施策の検証
- ③教育の質的向上に向けた諸施策の企画と実施
- ④FD の啓発活動（全学・各学部 FD 活動報告書の取りまとめ等）

SD（スタッフ・ディベロプメント）とは、大学設置基準第 42 条の 3、大学院設置基準第 43 条に規定の内容を踏まえ、職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための（FD に相当するものを除く）取り組みをいう。なお「職員」には、事務職員のほか、教授等の教員や学長等の大学執行部、技術職員等も含まれる。具体的には、次のとおり。

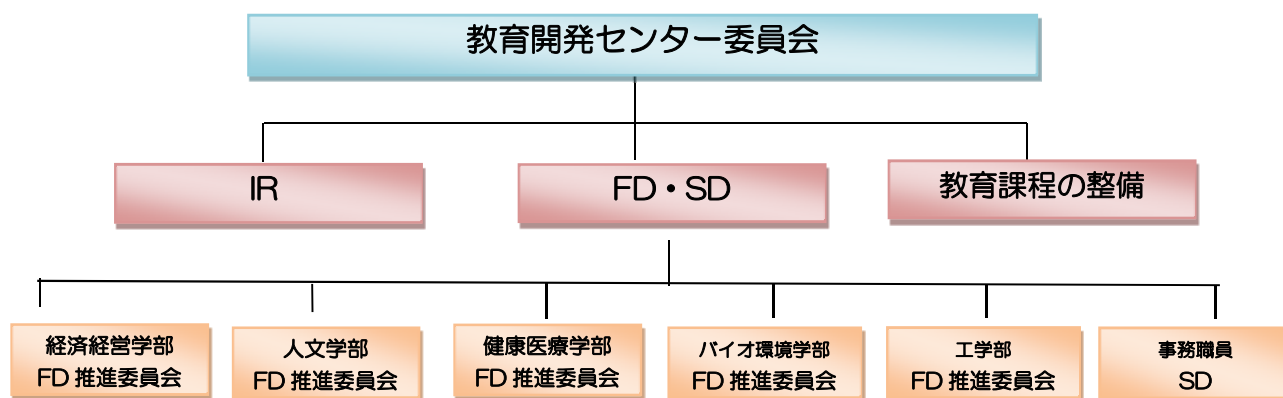
- ①大学職員に必要な知識および技能向上に関する情報の収集
- ②大学職員に必要な知識および技能向上に向けた諸施策の企画と実施
- ③SD の啓発活動（SD 活動報告書の取りまとめ等）

2) 期間

2020 年 4 月 1 日（日）～2021 年 3 月 31 日（水）

3) 委員（2021 年 3 月現在）

藤田裕之（教育開発センター長）、清水裕子（副教育開発センター長）、右近潤一（経済経営学部）、関口久雄（人文学部）、河田志帆（健康医療学部）、船附秀行（バイオ環境学部）、川上浩司（工学部）、藤塚 晃生（大学事務局長）東義明（大学事務局次長）



(2021 年 3 月現在)

2. 教育開発センター委員会の報告

2020年度は、年間13回の教育開発センター委員会を開催した。委員会では、所管する各事業についての企画・運営を行ってきた。委員会の中でのFD・SD推進のための主な事業としては、(1)FD・SD研修会の開催、(2)学生による授業評価アンケートである。

また、委員会では各学部および事務局で実施されているFD活動、SD活動状況を共有し、全学FD・SD活動との連動を図ってきた。具体的な取り組みは、表1のとおりである。

表1 2020年度教育開発センター委員会の取り組み

月	教育開発センター委員会	FD・SD研修会	授業評価アンケート	その他
4	8日(水) 第1回教育開発センター委員会 22日(水) 第2回教育開発センター委員会			
5	27日(水) 第3回教育開発センター委員会	20日(水)ビデオ研修 第1回FD・SD研修会		
6	24日(水) 第4回教育開発センター委員会	26日(金)Web配信 第2回FD・SD研修会		
7	22日(水) 第5回教育開発センター委員会		9日(木)～27日(月) 授業評価アンケート実施	18日(土) 関西FD地区連絡協議会 第13回総会 【参加者】1名(バイオ環境学部)
8	26日(水) 第6回教育開発センター委員会 (メール審議)	7日(金)Web配信 第3回FD・SD研修会	17日(月) 授業評価アンケート コメント入力期限	1日(土) 京都FD交流会 【参加者】2名(経済経営学部、バイオ環境学部) 30日(日) IRフォーラム 【参加者】3名(経済経営学部、バイオ環境学部、教育開発センター)
9	30日(水) 第7回教育開発センター委員会	30日(水)Web配信 第4回FD・SD研修会		19日(土) 京都FD交流会 【参加者】1名(バイオ環境学部)
10	28日(水) 第8回教育開発センター委員会	7日(水)Web配信 第5回FD・SD研修会		25日(日) SDフォーラム 【参加者】1名(国際オフィスセンター)
11	25日(水) 第9回教育開発センター委員会			
12	24日(水) 第10回教育開発センター委員会	23日(水)Web配信 第6回FD・SD研修会		15日(火) SD共同研修プログラム 【参加者】3名(内部監査部、研究連携支援センタ

月	教育開発センター委員会	FD・SD 研修会	授業評価アンケート	その他
				ー)
1	27日(水) 第11回教育開発センター委員会	7日(木) Web 配信 第7回 FD・SD 研修会 第8回 FD・SD 研修会 20日(水) web 配信 第9回 FD・SD 研修会	6日(水) - 24日(日) 授業評価アンケート実施	
2	24日(水) 第12回教育開発センター委員会		25日(木) 授業評価アンケート コメント入力期限	20日(土) 21日(日) 27日(土) 28日(日) FDフォーラム 【参加者】6名(経済経営 学部、人文学部、バイオ環 境学部、教育開発センタ ー)
3	24日(水) 第13回教育開発センター委員会	3日(水) Web 配信 第10回 FD・SD 研修会		

3. 学生による授業評価アンケート

本学では、以下の3点を主な目的として、学生を対象とした授業評価アンケートを実施している。

1. 学生の授業への理解度等を把握し、授業内容の改善に活かす。
2. 教員は学生の声をフィードバックし、学生の授業満足度を向上させる。
3. 教職員、学生、社会へ評価結果を公表し、本学への信頼と評価を高める。

授業評価アンケートは、2018年度より先端なびを利用し Web で実施している。春学期と秋学期の年間2回実施している。

【表2 2020年度授業評価アンケート実施期間】

	春学期	秋学期
【実施期間】	7月9日(木)～7月27日(月)	1月6日(火)～1月24日(日)

アンケート結果については、教員は担当科目、学生は履修科目の集計結果を（公開設定期間中は）先端なび上で確認する。なお科目担当教員は、自由記述を含めたアンケート集計結果に対して、授業フィードバックコメントを入力し、学生に公開している。

アンケート終了後、全体集計結果を大学評議会および本学ホームページ上に公開している。

(1) 2020年度授業評価アンケート項目

授業評価アンケートは、2017年度まで、「講義科目」、「外国語科目」、「情報科目」、「スポーツ科目」、「ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目」に分かれていた。アンケート項目は、共通設問項目（17項目）と科目群に特化した項目から構成されている。共通設問項目のうち項目1～12（12項目）を基本項目としていたが、2018年度より、項目を統一し全科目共通の設問項目へ変更した。

2018年度から2020年度まで利用している授業評価アンケート項目は次のとおりである。

2018年度 春学期 授業評価アンケート

このアンケートは、教員が日々の授業の内容や方法を改善する資料を得るために行うものです。ぜひご協力をお願いいたします。
回答いただいたみなさんの個人情報や回答内容は、個人が特定されるかたちで公表されることはありません。
また、このアンケートが成績に影響を及ぼすことはありません。

質問は全部で11問です。

※今回だけでなく、第1回から今回までの授業全体に対して回答してください。

※オムニバス等、複数担当者の科目についても、特定の先生についてではなく、授業全体に対して回答してください。

※回答（自由記述含む）は担当教員が閲覧しますが、学籍番号と氏名は表示されないため、回答者は特定されません。

問1 この授業の「到達目標」を理解していますか。 (必須)

- 理解している なんとなく知っている
 一度は見たり聴いたりしたが、覚えていない 一度も見たり聴いたりしていない

問2 この授業は理解できますか。 (必須)

- 理解できる やや理解できる あまり理解できない 理解できない

問3 この授業の内容の難易度はどうですか。 (必須)

- 難易度が高い やや難易度が高い ちょうどよい やや難易度が低い 難易度が低い

問4 この授業の進むスピードはどうですか。 (必須)

- 速い やや速い ちょうどよい やや遅い 遅い

問5 この授業の教え方はわかりやすいですか。 (必須)

- とてもわかりやすい わかりやすい わかりにくい とてもわかりにくい

問6 この授業で「理解できない」「わかりにくい」と感じるのはどの部分ですか。問3・問4以外の理由があれば書いてください。(自由記述)

問7 この授業を受講して、どの力が最も伸びたと思いますか。 (必須)

- コミュニケーション力 協働力 適応力 行動力 課題発見力 論理的思考力 特になし

問8 この授業1回あたり、授業時間外で予習・復習・課題等に費やす時間はだいたいどれくらいですか。 (必須)

- 120分以上 90分~120分 60分~90分 30分~60分 0~30分

問9 この授業はあなたの成長に役立ちましたか。 (必須)

- とても役に立った 役に立った あまり役に立たなかった 役に立たなかった

問10 授業改善に役立つよう、良かった点や後輩にすすめたい点等について、できるだけ具体的に記述してください。(自由記述)

問11 授業改善に役立つよう、改善してほしい点等について、できるだけ具体的に記述してください。(自由記述)

アンケート項目は以上です。「回答」ボタンをクリックして提出してください。

ご協力ありがとうございました。

※回答期間中は回答内容の変更が可能です。

なお、集計結果は以下の期間中に京学なび上で公表します。

集計結果公表期間：2018年7月31日（火）～2018年9月15日（土）

回答

(2) 授業評価アンケート実施結果

1) 授業評価アンケート実施状況

授業評価アンケートの実施状況は表 3 のとおりである。2018 年度からのアンケート Web 導入により実施率が下がっている。履修者がいても科目担当の回答者がいない科目はアンケート実施科目数に含まないため、アンケート用紙を配布して実施していた場合と比較して履修者が少ない科目の回答が減ったと考えられる。一方、Web 化により、自由記述の回答数が多くなったことは成果といえる。

【表 3 2020 年度授業評価アンケート実施状況】

年度	学期	対象科目数	実施科目数※1	実施率※2	教員コメント数	教員コメント率※3	自由記述数①※4	自由記述数②※4	自由記述数③※4
2020	秋	1406	-	-	396	28.2%	506	1017	926
	春	1327	-	-	281	21.0%	831	1423	1231
2019	秋	1,156	923	79.8%	242	26.2%	403	748	667
	春	1,184	855	72.2%	292	34.2%	682	1,018	964
2018	秋	1,092	772	70.7%	138	17.9%	263	380	218
	春	1,174	1,011	86.1%	541	53.5%	795	1,198	1,107
2017	秋	962	886	92.1%	449	50.7%	708		
	春	998	924	92.6%	368	39.8%	788		
2016	秋	1,057	974	92.1%	426	43.7%	548		
	春	1,068	991	92.8%	414	41.8%	812		

【2020 年度以降ルール】

(※1) 開講科目＝授業評価アンケート対象科目（業務委託科目除く）

(※2) 実施率は 100%

(※3) 開講科目数総数に対する、教員コメント数

(※4) 自由記述数は、科目数ではなく、学生の述べ回答数となっている。

【2019 年度までのルール】

(※1) 1 名でも回答者が存在する科目は「実施科目数」に含まれている。

(※2) 実施率＝実施科目数÷対象科目数

(※3) 教員コメント率＝教員コメント数÷実施科目数 *学生の回答がない科目に対してもコメントがあるが、ここには含んでいない。

(※4) 自由記述数は、科目数ではなく、学生の述べ回答数となっている。

*自由記述の①②③は以下のとおり（2018 年度春～2020 年度秋学期まで）

自由記述①…問 6「この授業で「理解できない」「わかりにくい」と感じるのはどの部分ですか。問 3・問 4 以外の理由があれば書いてください。」

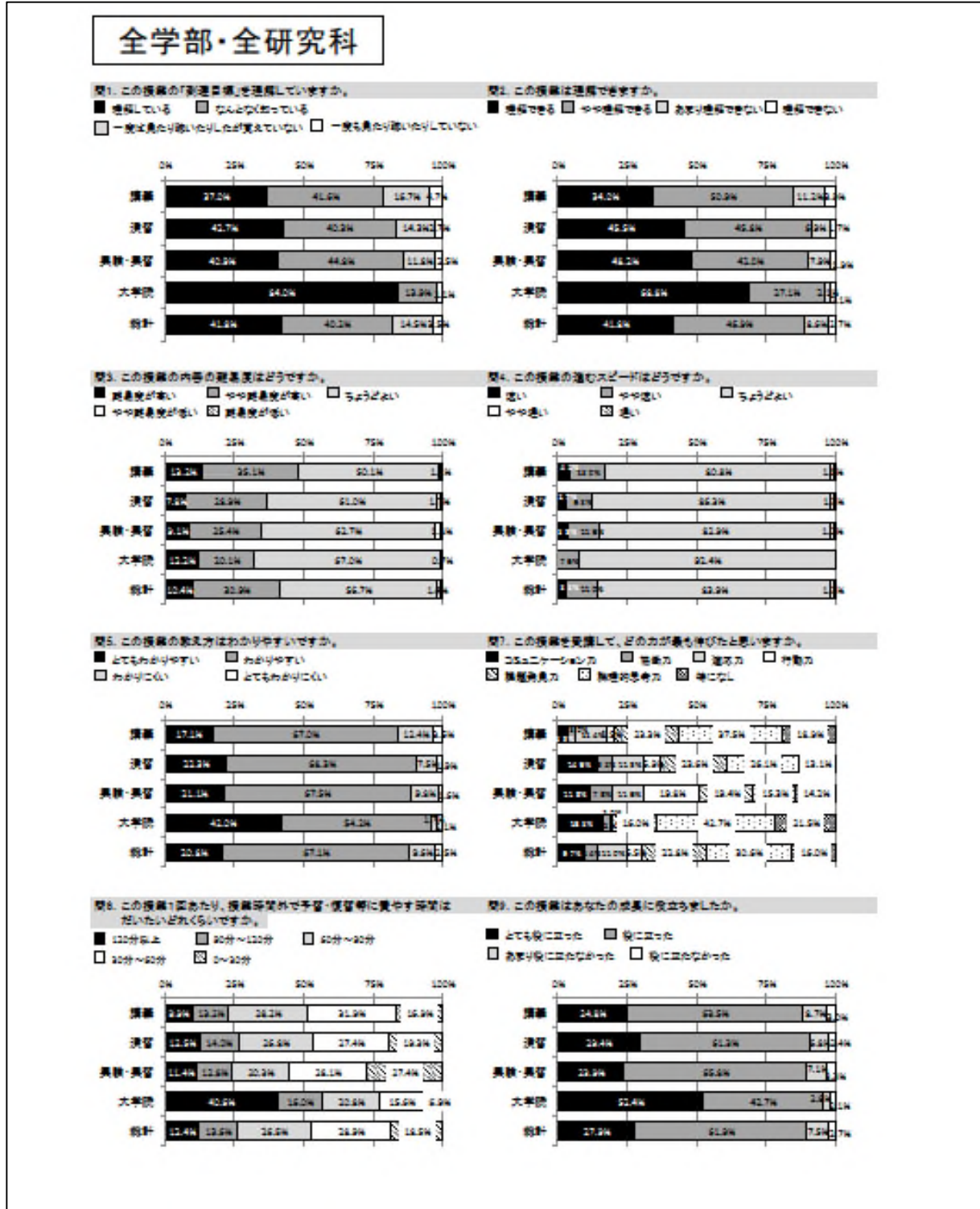
自由記述②…問 10「授業改善に役立つよう、良かった点や後輩にすすめたい点等について、できるだけ具体的に記述してください。」

自由記述③…問 11「授業改善に役立つよう、改善してほしい点等について、できるだけ具体的に記述してください。」

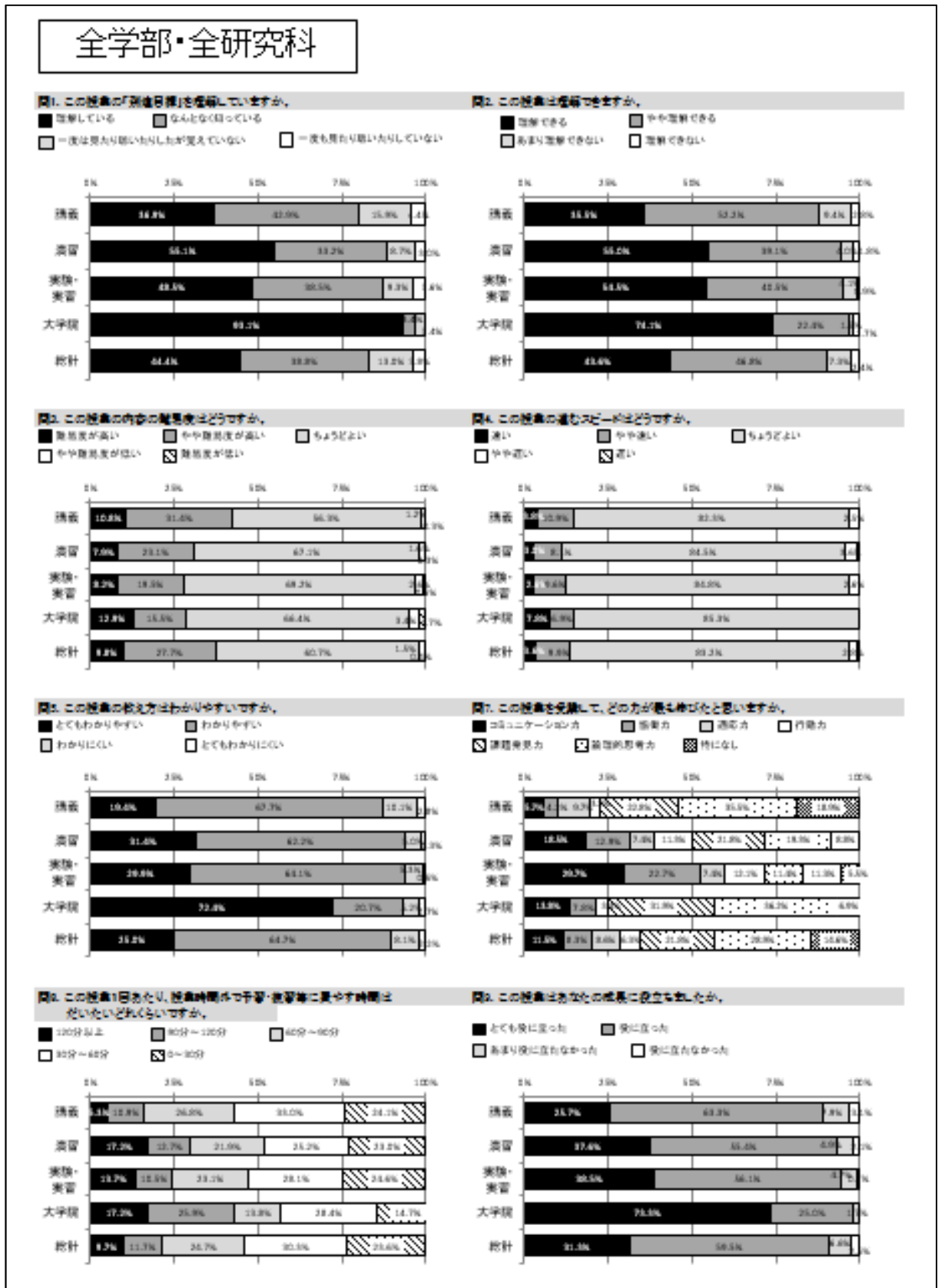
2) 授業評価アンケート全体集計結果

授業評価アンケートの全体集計結果は表4および表5のとおりである。

【表4 春学期 授業評価アンケート全体集計結果】



【表 5 秋学期 授業評価アンケート全体集計結果】



3) 学生アンケートによる授業評価賞

本学では2010年度より教育上の功績が高いと認められた教員を「Best Teacher 賞」として選出し表彰してきたが、2018年度より名称を「学生アンケートによる授業評価賞」と変更し、教育開発センター委員会において、学生の授業評価アンケート結果を基に、授業運営方法などを含めた広範な視点から、教員を選出し、大学執行部より表彰が行われている。

2020年度の受賞者は表6のとおり各学部から1名、計5名であった。

【表6 学生アンケートによる授業評価賞受賞教員】

学部	氏名(敬称略)
経済経営学部	安達 房子
人文学部	神原 歩
健康医療学部	束原 文郎
バイオ環境学部	井口 博之
工学部	川上 浩司

4. FD・SD 研修会

2020年度は、表7のとおり、年10回のFD・SD研修会を実施した。

表7 2020年度 FD・SD研修会実施状況

	開催日	テーマ（講師）	参加人数
第1回	5月20日（水） WE b 配信	「公的研究費の運営・管理に関する取組みについて」 「先端なび『研究業績』メニュー導入について」 研究・連携支援センター長 高瀬尚文 教授 研究・連携支援センター 中西 絵美 職員 居永 正宏 職員	218名 (教員214名、職員4名)
第2回	6月26日（金） WE b 開催	「先端なび『コース管理』説明会」 NTT西日本	225名 (教員177名、職員48名)
第3回	8月7日（金） WE b 開催	「遠隔授業におけるオンデマンド教材の作成」説明会 教務センター長 西片 聡哉 教授 教務センター 荒木 哲朗 職員	222名 (教員180名、職員3名)
第4回	9月30日（水） WE b 配信	「先端なびコース管理の作成方法」説明会 教務センター 荒木 哲朗 職員	212名* (教員180名、職員32名)
第5回	10月7日（水） WE b 開催	「先端なび・学修ポートフォリオ」説明会 教育開発センター長 藤田 裕之 教授 教育開発センター 丸山 加奈子 職員	202名 (教員172名、職員30名)
第6回	12月23日（水） WE b 配信	「本学の財政状況について」 法人事務局 吉田 正人 次長	276名 (教員175名、職員101名)
第7回	1月6日（水） WE b 配信	「大学におけるガバナンス（内部統制）について」 河井 昭夫 常勤監事	267名 (教員166名、職員101名)
第8回	1月6日（水） WE b 配信	「ハラスメント研修について」 河井 昭夫 常勤監事	270名 (教員170名、職員100名)
第9回	1月20日（水） WE b 開催	「2020年度におけるSLSの取り組み内容と今後の展望」 筑波大学体育系 木内敦詞 教授 (全国大学体育連合常務理事・研究部長) 教育開発センター 前田 奎 講師 教育開発センター 松木 優也 嘱託講師	233名 (教員163名、職員70名)
第10回	3月3日（水） WE b 配信	「SDGs—亀岡市の施策と本学の取り組み」 大阪商業大学 公共学部 原田 禎夫 准教授 京都先端科学大学 人文学部 手塚 恵子 教授 京都先端科学大学 バイオ環境学部 高澤 伸江 准教授	194名 (教員139名、職員55名)

5. 学外研修会等への参加状況

学外におけるFD・SD研修は、本学が参加する団体（大学コンソーシアム京都、並びに関西地区FD連絡協議会）において主催する研修があり、教職員が自主的に申し込み参加・報告する形式としている。

【表8 2020年度 外部の研修会（大学コンソーシアム京都、並びに関西地区FD連絡協議会など）への参加状況】

開催日	テーマ (会場)	参加人数(所属)
7月18日(土)	関西FD地区連絡協議会 第13回総会	1名(バイオ環境学部)
8月1日(土)	大学コンソーシアム京都 第3回 京都FD交流会 「オンライン授業～現状と課題の整理～」	2名(経済経営学部、バイオ環境学部)
8月31日(日)	IRフォーラム	3名(経済経営学部、バイオ環境学部、教育開発センター)
9月19日(土)	大学コンソーシアム京都 第5回 京都FD交流会 「深い理解を促す反転授業」	1名(バイオ環境学部)
10月25日(日)	大学コンソーシアム京都 第18回 SDフォーラム	1名(国際オフィスセンター)
12月15日(火)	大学コンソーシアム京都 SD共同研修プログラム(オンライン研修) 「学校法人会計の基礎～超入門～」	2名(内部監査部)
12月18日(金)	大学コンソーシアム京都 SD共同研修プログラム(オンライン研修) 「研究支援の基礎知識」	1名(研究連携支援センター)
2月20日(土) 2月21日(日) 2月27日(土) 2月28日(日)	大学コンソーシアム京都 第26回 FDフォーラム	6名(経済経営学部2名、人文学部2名、 バイオ環境学部1名、教育開発センター 1名)

6. 学外委員について

大学コンソーシアム京都FD企画検討委員会 2020年度 人文学部 関口久雄委員
 関西地区FD連絡協議会 2020年度 バイオ環境学部 船附秀行委員

7. 教育開発センター委員会の議事内容

2020年度の教育開発センター委員会の議事内容は、表9のとおりである。

【表9 2020年度 教育開発センター委員会の議事内容】

	開催日	内容
第1回	2020年 4月8日(水)	<p>議題1. 教育開発センター全般に関わること</p> <p>①教育開発センター規程・全学における役割について</p> <p>②教育開発センター2020年度事業計画</p> <p>③年間スケジュール</p> <p>④定例会の開催日程について</p> <p>⑤教育開発センター当面の課題と今年度方針について</p> <p>議題2. 教学 IR 活動</p> <p>①各種アンケートについて</p> <p>②学修ポートフォリオ</p> <p>議題3. FD・SD 活動</p> <p>①FD・SD 研修会スケジュール</p> <p>②学外委員の選出</p> <p>③2020年度 FD・SD 推進活動報告書の編集・作成</p> <p>議題4. 教育開発センター業績審査委員会について(資料作成中)</p> <p>議題5. その他</p>
第2回	2020年 4月22日(水)	<p>議題1. 前回委員会議事録の確認</p> <p>議題2. 教学 IR 活動</p> <p>①各種アンケートの詳細について</p> <p>②卒業生アンケート 2019・2018年度総括と比較</p> <p>③マイステップへの入力催促の学科長への依頼について</p> <p>議題3. FD・SD 活動</p> <p>①FD・SD 研修会の延期とビデオ化について</p> <p>②2020年度春学期 授業公開の中止 ならびに 授業評価アンケートの実施変更について</p> <p>③FD・SD ビデオ研修参加報告を FD・SD 研修追加参加申 請報告書にて実施することについて</p> <p>④FD・SD 研修会企画の申請延長について</p> <p>議題4. 教育課程の整備</p> <p>①カリキュラムマップ策定のお願ひ</p> <p>議題5. その他</p>
第3回	2020年 5月27日(水)	<p>議題1. 前回委員会議事録の確認</p> <p>議題2. 教学 IR 活動</p> <p>①各種アンケート担当科目の決定について</p> <p>②卒業生アンケートの総括について</p> <p>③新入生アンケートについて</p> <p>1.2020年度新入生アンケート総括について</p> <p>2.2019年度・2020年度新入生アンケート比較</p> <p>3.新入生アンケート(学習時間・生活実態)の実施について</p> <p>④春学期授業評価アンケートの実施について</p> <p>議題3. FD・SD 活動</p> <p>①2020年度 FD・SD 研修実施について</p> <p>議題4. 教育課程の整備</p> <p>①カリキュラムマップ関連資料について</p>
第4回	2020年 6月24日(水)	<p>議題1. 教学 IR 活動</p> <p>①学修ポートフォリオ導入時・検討課題</p> <p>②新入生アンケートの総括について</p> <p>議題2. FD・SD 活動</p> <p>①FD・SD ビデオ研修サイト追加について</p>

	開催日	内容
		②2020年度FD研修実施について 議題3. 教育課程の整備 ①カリキュラムマップ関連資料について 議題4. その他 ①関西地区FD連絡評議会総会への参加について
第5回	2020年 7月22日(水)	議題1. 教学IR活動 ①学修ポートフォリオ導入・FD/SD研修会について ②新入生アンケート(生活実態・学習時間)について 議題2. FD・SD活動 ①2020年度FD研修実施について 議題3. 教育課程の整備 ①カリキュラムマップ関連資料の公開について 議題4. その他 ①自己点検評価について ②2020年度教育開発センター所属新規教員人事公募の開始について
第6回 メール審議	2020年 8月26日(水)	議題1. 教学IR活動 ①新入生アンケート(生活実態・学習時間)について ②2020年度春学期授業評価アンケートについて 議題2. FD・SD活動 ①2020年度全学FD・SD研修について ②2020年度学部FD実施方針策定について 議題3. その他 ①学修PF、FD研修実施について
第7回	2020年 9月30日(水)	議題1. 教学IR活動 ①2020年度春学期授業評価アンケート(意見交換) ②2020年度春学期授業評価アンケート(英語) 議題2. FD・SD活動 ①2020年度学部FD実施方針 集約結果 ②2020年度FD研修実施について ③2019年度FD・SD推進活動報告書 最終報告 議題3. その他 ①学修PF、FD研修補助資料について
第8回	2020年 10月28日(水)	議題1. 教学IR活動 ①「学生満足度調査」の在り方について ②2020年度「学生意識調査(旧・学生満足度調査)」実施概要について ③授業評価アンケートについて 議題2. 教育課程の整備 ①2021年度「ディプロマポリシー(DP)配分ポイント表」点検について 議題3. その他 ①学修PF(学生向け)案内資料について
第9回	2020年 11月25日(水)	議題1. 教学IR活動 ①2020年度秋学期授業評価アンケートについて ②2021年度(新)授業評価アンケート(たたき台) 議題2. FD・SD活動 ①2020年度FD企画について
第10回	2020年 12月23日(水)	議題1. 教学IR活動 ①2020年度秋学期授業評価アンケートについて (教員コメントについて) ②2021年度(新)授業評価アンケート(決定) ③2021年度春学期・秋学期授業評価アンケートのランキングについて

	開催日	内容
		議題 2. FD・SD 活動 ①2020 年度 FD 企画について ②2020 年度 FD 研修（教育職員人事考課）に関わって
第 11 回	2021 年 1 月 27 (水)	議題 1. 教学 IR 活動 ①2021 年度新授業評価アンケート点数化について（案） ②2020 年度学生意識調査結果 議題 2. FD・SD 活動 ①2020 年度 FD 企画について ②2020 年授業評価アンケートによる授業評価賞教員推薦のご依頼
第 12 回	2021 年 2 月 24 (水)	議題 1. 教学 IR 活動 ①2020 年授業評価賞教員推薦について ②2020 年度秋学期授業評価アンケート集計結果 ③2020 年度秋学期授業評価アンケート(英語)集計結果 ④2020 年度学生意識調査（総括）まとめ ⑤2020 年度卒業生アンケート実施依頼 ⑥2020 年度秋学期学生への振り返りおよび 2021 年度春学期目標設定について【学修ポートフォリオ・マイステップについて】 ⑦2021 年度授業評価アンケート点数化について 議題 2. FD・SD 活動 ①2020 年度 FD・SD 活動報告書作成について 議題 3. その他 ①2021 年度 FD・SD に関わる学外委員選出について
第 13 回	2021 年 3 月 24 (水)	議題 1. 教学 IR 活動 ①2020 年度秋学期授業評価アンケート集計結果 ②2021 年度授業評価アンケート点数化について ③新入生アンケート実施方針 議題 2. FD・SD 活動 ①2020 年度 FD・SD 活動報告書作成について 議題 3. 教育課程の整備 ①各学部カリキュラムマップについて

8. 2020 年度の FD・SD 活動の総括

2020 年度 FD 活動・SD 活動の総括として、委員会が従来から取り組んでいる、(1) 学生による授業評価アンケート、(2) FD・SD 研修会について、実施・運営を従来に引き続き行うことができた。コロナ禍の影響もあり、「授業公開」は公開できなかったが、2021 年度については、授業評価賞受賞教員によるオンライン授業による「遠隔授業時」での工夫についての FD 研修を予定している。2020 年度の特記事項として以下の点が挙げられる。

- ① 年間 10 回の FD・SD 研修会を行ったが、今期についてはコロナ禍によるオンデマンド授業の準備が急遽全学的に必要となった。関係各所から、授業支援に関わる FD 研修会を数回実施いただき、特に秋学期以降についてはスムーズに遠隔授業に取り組めることとなった。
- ② 学修成果の可視化に向けて、学修 P F システムが新たに稼働しているが、学修 P F 稼働に向けて FD 研修会を開催、利用マニュアルの整備、2021 年 3 月から本格稼働まで実施できている。
- ③ 全ての研修会は TEAMS を利用して STREAM 配信方式に変更。また出席アンケートについても先端なびのアンケート機能を用いた対応とした。研修会はオンデマンド方式での開催としたため、飛躍的に研修会の参加率が向上したため、今後も継続して当該方式で実施したいと考えている。
- ④ 教員の人事考課の一環となる FD・SD 研修会を計 3 回実施した。(大学の財政・ハラスメント・大学のガバナンス) について。
- ⑤ 本学所属団体 (大学コンソーシアム京都、関西地区 FD 連絡協議会) による FD・SD 研修会等への参加を支援した。
- ⑥ 本年度は試験的に e ラーニングシステムによる事務職員 SD 研修を実施した。

9. 2021 年度の FD 活動・SD 活動に向けた課題

2020 年度より教育開発センター所管の委員会を大幅に見直し、FD・SD 推進委員会の役割は教育開発センター委員会が引き継ぐことになった。教育開発センター委員会は IR 推進委員会の役割も引き継いだため、FD・SD 活動に限らず教育開発に関する取り組みを迅速に審議する取り組みが整った。現行制度にて検討が必要な事項は速やかに対応していきたい。

教職員の教育力向上の支援及び推進に向けて以下の FD (大学全体レベル・学位プログラムレベル・授業科目レベル) に落とし込み順次開催していく。

- ①. 各種アセスメント結果・現状の学生の分析結果を用いて意見交換、次期カリキュラム改革に向けての知見を深める機会の提供。
- ②. 成績評価基準の適切な運用 (ルーブリックの活用、GPA 算出と活用等)、評価基準を通しての、個々の授業科目の見直しにつながる機会提供。
- ③. 学修成果の可視化 (学生個人の学修成果の評価方法)、2020 年度に学修ポートフォリオが導入されたため、マイステップ機能との連動について学生の 4 年間の成長と学びを意識した FD 研修を開催する。また学生指導/支援を行うにあたっての教職員の知識・技能の力量形成をはかるための機会提供も同時に行いたい。